



生みの親といっしょに  
よりよい育ての親に

わたしを ぎゅっとして  
わたしを 見つめて  
わたしを 聞いて  
わたしを 呼んで

### 年頭初感 『今から始めよう！未来への人間教育』

「今後の幼児教育とは」と題して、白梅学園大学子ども学部の無藤隆教授が「千葉市の幼児教育シンポジウム」で講演し、今回の幼稚園教育要領の見直しの背景やポイントについて説明したそうです。特に私が気になったのは、小学校入学時点での児童の課題として半数以上の小学校が次の四つの事に問題があり、幼保小連携接続テーマのモデルとなるアプローチカリキュラムを作成する必要性を感じているということです。

1. 自分の思いや考えを友達や教職員に伝える。
2. 自分の持ち物をきちんと管理・整理する。
3. 好き嫌いなく喜んで給食を食べる。
4. 落ち着いて席に座り、教職員の話最後まで聞く。

私はこれを読んで、人間として生きるために必要な姿勢・態度を見失なった幼児教育が250万人もの引きこもり、不登校、ニート、フリーター、いじめを生み出している事実の裏付けを知らされた気がしました。こうした状況の中でまた 教育要領、保育指針、教育・保育要領の改訂に向けた論議がまとまり平成28年度末告示、30年施行に向け動き出しました。その中では特に5歳児の終わりまでに育てほしい姿を次の10項目を明確に位置付けることも明らかにされました。



笑ったかす一番  
遊んだかす一番

だっこされたかす一番  
でかけたかす一番

やさしくされたかす一番  
チャレンジしたかす一番



E-mail [doushinkai@kashiwa-sakasai.ed.jp](mailto:doushinkai@kashiwa-sakasai.ed.jp) URL <http://www.kashiwa-sakasai.ed.jp>

TEL 04-7172-3939  
FAX 04-7172-3901

社会福祉法人 童心会

〒277-0042 千葉県柏市逆井1377番地1  
理事長 中山 勲



- |                  |                     |
|------------------|---------------------|
| 1. 健康な心と身体       | 6. 思考力の芽生え          |
| 2. 自立心           | 7. 自然との関わり、生命尊重     |
| 3. 協同性           | 8. 数量・図形、文字等への関心・感覚 |
| 4. 道徳性・規範意識への芽生え | 9. 言葉による伝え合い        |
| 5. 社会生活との関わり     | 10. 豊かな感性と表現        |

一方保育指針の改定の方向性として

- ① 乳児・1歳以上3歳未満児の保育に関する記載の充実
- ② 保育所保育における幼児教育の積極的な位置づけ
- ③ 子どもの育ちをめぐる環境の変化を踏まえた健康及び安全の記載の見直し
- ④ 保護者・家庭及び地域と連携した子育て支援の必要性
- ⑤ 職員の姿勢・専門性の向上  
などが掲げられていました。

(社福)童心会は昭和48年から茨城県での「五感を刺激する保育」から始まり「認知神経科学」や「脳科学」などの進化から、教育は乳児期から始まっていることを私たちは臨床保育を通じて学んできました。生理的要求、情動的要求だけでない、感受性・感性、感情までを共有しながら「他者理解」まで育っている現実を見えています。だから改めて、未来への人間教育を 今から始めなければならないと強く思うのです。

キャシー・デビットソン氏(ニューヨーク市立大学院センター教授)は今回の改定に際して「子どもたちの65%は、大学卒業後、今は存在しない職業に就く」と明言しています。今まで以上に未来が予測不能で変化のスピードが速い時代になるというのです。だから未来志向の新教育課程アクティブ・ラーニングを「攻めの学習指導要領」と評していますが、私はスマート・ラーニング(賢い人間教育)を提唱します。なぜなら新しい時代に生まれてくる「文化と科学」は新しい人間教育を求めているからです。

「文化と科学」が融合された乳幼児教育が今求められているのです。  
保育指針の改定も何度か行われていますが、  
同じ過ちを繰り返さないことをただ祈るばかりです。

平成 29 年 1 月 吉日  
社会福祉法人 童心会  
理事長 中山 勲